



令和8年度に向けて

松浜病院 病院長 小 熊 隆 夫

女性初の内閣総理大臣の誕生に多くの国民が期待したのか、すぐさま打って出た解散総選挙の結果は皆様ご存じのとおり与党の圧勝で終わりました。物価高や人手不足で苦境にある多くの医療・介護施設は、令和8年度の報酬改定に大きな期待を寄せているところですが、診療報酬に関しては12年ぶりのプラス改定となり、医療施設にとっては十分とは言えないまでも少し息をつける状況となりました。

そんな慌ただしい世情の中、イタリアで開催された冬季オリンピックでは日本人選手の活躍で多くのメダルがもたらされしほしの平和の祭典を楽しむことができました。しかしながら終わるや否やアメリカとイスラエルはイランに対する武力行使を実行し、パレスチナ問題が沈静化する中で新たな火種となりました。そういえばロシアのウクライナに対する軍事侵攻も前回の冬季五輪のすぐ後に始まり、和平の兆しを見せながらも既に4年が経過しました。次々と起こる軍事的な対立はいつまで続くのでしょうか。早く平和な世界が訪れることを祈るばかりです。

さて、AIがかなり身近な存在となり実際に仕事や日常生活で使われている方もいらっしゃるかと思います。何かAIにお願いした後に「ありがとう」

と言うだけで数千万から数十億円の損失が発生するという記事を最近読みましたが、世界中で多くの人がAIを使うと、それに伴う電力消費が莫大になるという話でした。AIはデータセンターというところで様々な事柄を学習しながら多種多様な要求にこたえます。学習するにも何か答えを返すのにも相当な電力を消費するといわれ、2030年にはこのデータセンターでの電力消費が日本の総電力消費を上回るという推計もあるそうです。日本では原子力を含め稼働していない発電所の影響で、季節や天候によって一時的に電力需給がひっ迫する恐れがあります。発電施設はすぐに増設できるものではないため、このままAIの消費電力が増えれば季節に関係なく需給がひっ迫するかもしれません。AIは確かに便利で、今後医療にも積極的に利用されるようになっていくと考えますが、便利の裏には必ずその代償が伴うことを忘れないようにしたいと思います。

医療・介護に厳しい状況はまだまだ続くと思われませんが、患者さまに寄り添い必要な医療とは何かを常に意識しながら、質の高い医療サービスを提供してより一層信頼される病院を目指してまいります。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

<松浜病院の中長期的展望>

- 1) 若手人材の確保と育成を行なう
- 2) チーム医療の推進と診療の質の向上を目指す
- 3) 栄養科施設を含めた新病棟の整備を行なう
- 4) 情報システム機能の円滑な運用を行なう
- 5) 外来機能を集約して外来部門として統合する
- 6) 急性期病棟を含め病棟機能の再編を検討する

<松浜病院の令和8年度目標>

- 1) 適切な病床管理を行うとともに、チーム医療を通じて病床利用率及び回転率の向上を図る
- 2) 訪問看護を通じ、在宅患者の日常生活を積極的にサポートする
- 3) 感染症対策を徹底して、感染予防に努める
- 4) 迅速で正確かつ安全に心がけ職務を実行する
- 5) より良い接遇を行い、患者サービスの向上を目指す
- 6) 職務中での経費・時間の節約と効率的な利用を行う
- 7) 若手人材の確保と育成を行うとともに、全職員の教育・技能向上を援助する



作業療法室からのお知らせ⑩

OCCUPATIONAL THERAPY

作業療法室 室長 近 英 樹



この度も「心の翼」を読んでいただきありがとうございます。この季節は卒業式・入学式・就職等で希望に満ちていますね。冬の間、日照時間が短い新潟県では、春の暖かい日差しはやる気を回復し、重たかった腰もあがるようになります。それに伴い、勢い良く新しい目標や健康のための運動・ダイエット等を始める方も多いと思います。ここで注意なのが、思った以上に新潟県の厳しく長い冬は皆さまの心身を疲労させています。日差しで心はぱっと明るくなりますが、実は体はそれに伴っていませんので、無理をすると夏前に疲れてしまいます。ですので目標や計画は小さく刻んで、ゆっくりと時間をかけていくことが大切です。成果は3ヵ月後からやっと出てきます。焦らず、ゆっくりのんびり、時にさぼって楽しみながらいきましょう♡

～SSTプログラムの紹介（外来・入院患者さま対象）～

SST（社会生活技能訓練）は、専門の資格を持った医療スタッフが、コミュニケーション能力の向上や服薬管理、症状自己管理等を皆さまと寄り添いながら練習しています。興味のある方は見学もできます。（参加するには医師の処方が必要です。）

栄養科通信 美味しい食事で治療を応援

入院生活は何かと我慢することも多く、正直しんどい日もあると思います。そんな中で患者様が口を揃えておっしゃるのは「毎日の楽しみは食事！」のひと言です。栄養科への高い期待と受け止め、いつも有難く感じています。

当院では食事を栄養補給だけでなく、「食べる喜びと楽しみ」を大切にすることで治療の一環とする考え方を基本としています。毎日30品目以上の食材を使用し、香ばしさや甘酸っぱさ、辛味も使った幅広い味付けで、食べた人がより楽しく元気になれるよう、これからも美味しい食事で応援し続けます。



《本日の給食》

- 五目炊き込みご飯
- 魚の唐揚げ彩り野菜あん
- 春菊の梅肉和え
- 大豆のすり流し汁

（エネルギー572kcal、蛋白質25.0g、食塩3.1g、食物繊維7.9g）

心理室から

こんにちは

今回は心理室 山崎理恵さんにインタビューしたいと思います！！

Q 簡単に自己紹介をお願いします！

A 2026年1月に入職しました、山崎理恵と申します。これまで、別の精神科病院で勤務した後は、カウンセリング機関や大学の学生相談室に勤務し、時に心理学授業の講師をしたりしながら、心理士として働いてきました。久しぶりの医療の場への緊張もありますが、松浜病院に馴染んでいたらと思っています。皆さま、どうぞよろしく願いいたします。

Q 普段はどんなお仕事をされていますか？

A 主に外来や入院患者様の心理検査、カウンセリング業務を担当しています。また、週1日はリワークプログラムにもスタッフとして勤務してメンバーの方と一緒に活動しています。対個人、対グループという違いはありますが、どちらもやりがいのある業務です。患者さんと関わりながら、ご本人も言葉にならないような大変さや困った感覚も理解して、共に居る・一緒に考えることが出来る心理士でありたいと思っています

Q 最近のマイブームはありますか？

A リワークで編み物プログラムを担当したことをきっかけに、再び編み物にハマり、編むうち【無】になるので瞑想に近いなと感じています。写真は休み時間に編んだ、フルーツモチーフのアクリルたわしです。ブームが続くうちに、心理室用のティッシュカバーに挑戦したい気持ちはあるのですが、まだ編み始められてはいません！ 長い目で完成を目指します(笑)



☆これからも心理室・地域連携室・医療相談室一同
みな様のお役に立てるよう努めていきたいと思っております☆

リワークのご案内

心理室 谷川 則子

復職したいけど
自信がない

再発しないか
心配……



こういった悩みを抱えている方は
いらっしゃいませんか？

松浜病院リワークでは、うつ病や適応障害などで休職している方を対象に復職と再休職予防のための『リハビリテーションプログラム』を行っています。

実施日：月曜日～金曜日 9：30～16：00

対象：うつ病や適応障害の治療中で、6ヵ月以内に復職を考えている方

当院以外の医院・クリニックに通院中の方も転院せずにご利用いただけます。

見学・相談を随時受け付けております。

気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先：025(258)8017 医療相談室

訪問看護のご案内

きらめき管理者 吉田 浩司

精神科特化型の訪問看護ステーションとして開設し、もう1年半ほど経ちました。現在ではご利用者様も増えてきています。訪問看護は何をしてくれるの？等お話だけでも構いません。まずはご連絡ください。

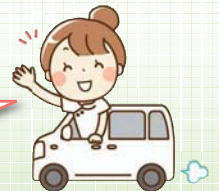
訪問内容は、バイタルサイン測定を含む健康管理、内服の管理・相談、病状の相談や日常生活における助言や援助、日中活動に向けた助言、ご家族様からの相談などです。

訪問地域：新潟市北区・東区、中央区全般・江南区・西区の一部（他の地域も相談可）

対象者：精神科または心療内科を受診している方
※松浜病院以外の医療機関も可

料金等：医療費として健康保険適応
※自立支援医療適応の場合1割負担

外来通院中の方や、退院を控えて在宅生活に不安を抱えている方など、気軽にご相談ください。



訪問看護ステーション きらめき

☎ 025-288-1375 ☎ 070-3079-9809

※訪問業務のため、お電話が繋がらない際は、後ほど折り返しご連絡させていただく場合がございます。

看護部だより

看護師1年目を振り返って

東2病棟 渡辺 更幸

看護師として働き始めてからのこの1年は、目の前の業務に追いつくことで精一杯の日々でした。初めて経験することが多く、疾患や症状の理解、患者さまへの対応に悩むこともあり、自分の未熟さや非力さを感じる場面が多くありました。

その一方で、私だからこそ頼ってくださったり、言いつらい話をしてくださる患者さまがいることに気づき、安心した表情や言葉をいただけた時には、やりがいを感じる事ができました。また、この1年を乗り越えることができたのは、日々支えてくださった先輩方のおかげだと感じています。

今後は、ただ目の前のことをこなすのではなく、疑問をもちながら患者さまと関わり、自分なりに考えて行動できるようになりたいです。そのためにも、看護技術や疾患に関する知識を深め、学ぶ姿勢を忘れずに取り組んでいきたいと思ひます。また、時間や心に余裕をもち、患者さまに安心感を与えられる看護師になれるよう努力していきたいです。

一年を振り返って

東2病棟 大野 春菜

入職して一年が経過し、振り返ると多くの学びと成長がありました。最初は緊張と不安でいっぱいでしたが、先輩方のサポートや患者さまとのコミュニケーションを通じて少しずつ自信を持てるようになりました。先輩方には、多忙な中でも丁寧な指導をしていただき、本当に感謝しています。

日々の業務の中で、看護技術だけでなく、看護の重要性やチームワークの大切さを実感しました。特に、患者さまとの信頼関係を築くことで、より良いケアができることを学びました。困難な場面にも直面しましたが、その都度反省し改善を図ることで、看護師としてのスキルを磨いて行けたと感じています。これからもより多くの経験を積み、患者さまに寄り添える看護師を目指していきたいと思ひます。

松浜病院 外来診療担当表

(2026年4月1日現在)

	月	火	水	木	金
精神科 (AM)	福井	福井	野澤	小林	小熊
	野澤	渡邊	長谷川	長谷川	渡邊
精神科 (PM)		野澤 (もの忘れ)		小林	小熊
内科	藤島	大越 (第1・3・5週) 帯刀 (第2・4週)	藤島	帯刀	帯刀

※本表は2026年3月に作成しているものであり、実際の担当表とは異なる場合がございます。

【診療受付】 8:50~11:00 初診の方
 (月)~(金) 8:50~11:30 再診の方
 (火)のみ 13:00~16:00 もの忘れ外来 / 事前予約制
 (木)・(金)のみ 13:30~15:30 精神科午後外来 / 初診・再診の方

【休診日】 土・日曜日と祝日

【精神科の診療は予約制です】

診療をご希望の方は、電話などで前日までにご予約を入れてください。ご不明な点がございましたら医事課受付までお問い合わせください。

【予約やお問い合わせ先】

☎ 025-259-3241 (医事課)

もの忘れ外来のご案内

診療日時：毎週火曜日 午後1時~4時 (予約制)
 (令和8年4月21日より木曜日→火曜日に変更となります)
 対象者：もの忘れが気になり始めた方、認知症が始まったかもと心配な方

既に認知症の診断を受けていて症状が進行してきた方など家族のみの相談(医師との面談)も可能です。

電話相談予約

お電話はご本人・ご家族・支援者等どなたからでも結構です。医療相談員がお話を伺い、予約をお取りします。
 受付電話番号：025-259-3241

初診



医療相談員が追加でお話を伺います。医師による診察。もの忘れなどについての検査、尿検査、血液検査、画像検査等。
 ※院外でさらなる精査をお願いする場合があります。

再診

診断、症状や状態、治療方針等について説明し、治療を行っていきます。

※入院が必要と思われる場合は、午前の精神科の受診をお願いする場合があります。

市民、支援者を対象とした講演会を開催しました。

市民を対象に、認知症の予防や早期受診につなげることを目的として、精神科 野澤宏二医師より「認知症にならないためにやれること、認知症になったらやるべきこと」というテーマで講演をおこないました。

また、地域の支援者を対象にした講演会も開催しました。連携の強化を図るため、入院の制度や当院での治療、受入れ状況などの実情について、精神科医、看護師、精神保健福祉士の立場からお話させていただきました。

今後も地域の医療に貢献できるよう努めてまいります。



介護老人保健施設 松浜さくら園

松浜さくら園には一般棟と認知症棟の2つの入所フロアがあり、松浜病院の本館に併設されています。どちらのフロアも温かい言葉かけと優しいスキンシップ、安心・安全な看護・介護・リハビリテーションを目指し、日々ご利用者様と関わらせて頂いております。

一般棟と認知症棟の2つのフロアでは、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がそれぞれご利用者様の身体機能、認知機能の状態に合わせた個別リハビリテーションを行い、状態の維持・向上に努めています。また、外出・創作・料理などの集団リハビリテーションにも力を入れ、季節の行事も趣向を凝らして行っております。

イギリスのビバリッジ報告で有名な“ゆりかごから墓場まで”という言葉があります。さくら園としては、入所前から退所後まで利用者様とご家族様の支援をさせて頂いております。介護や制度等でお困りの事も多々あると思います。是非お気軽に声を掛けて頂き、相談をしながら、一緒に問題解決に向けて二人三脚で歩いていけたらと、常に心がけて相談援助を行っていますので、いつでも事務室にお立ち寄り下さい。

○お問い合わせ先

☎ 025-258-3993 (9:00~17:00)

FAX 025-258-3991

※お気軽にお問い合わせ下さい。

編集後記

心の翼第21号が完成しました。社会の分断や利己的な風潮が依然として懸念される昨今ですが、私たちは医療・介護の原点である「他者を想う心」を何より大切にしております。当法人は地域社会の揺るぎない礎として、どのような環境下でも、皆様に信頼され、必要とされる存在であり続けるよう、誠心誠意努めていく所存です。

心の翼で松浜病院・松浜さくら園の活動を広く知ってもらい、みなさまと一緒に患者さま、利用者さまの明るい未来づくりに邁進します。今後ともよろしくお願ひします。

編集発行 松浜病院 広報委員会

☎ 025-258-8009